

## ShonanBMW スタジアム平塚改修検討会議報告書（概要版）

### 1 ShonanBMW スタジアム平塚改修検討会議設置の経緯

ShonanBMW スタジアム平塚（平塚競技場）は、日本プロサッカーリーグ（以下「Jリーグ」という。）湘南ベルマーレのホームスタジアムであるほか、全国規模の陸上競技大会が実施されるなど、平塚市のみならず湘南、県西や県央地域の重要な位置を占める陸上競技場でもある。しかしながら施設改修から20年以上経過しており、施設の老朽化や設備が現在のニーズに対応できていない状況である。また、湘南ベルマーレサポーターを中心とした34,012名の全面改修等を求めた署名にもあるように、観戦環境の改善も求められている。

さらに、陸上競技施設として日本陸上競技連盟から第2種公認を受けている現在、この公認を維持しつつ大規模大会を実施するためには、日本陸上競技連盟が求める基準をクリアする必要がある。

これらを念頭に、ShonanBMW スタジアム平塚の将来あるべき姿を検討し、施設改修の方向性を示すため、平塚市、Jリーグ、サッカー関係者及び陸上競技関係者からなる ShonanBMW スタジアム平塚改修検討会議（以下「改修検討会議」という。）を組織し協議、検討を重ねてきた。これはその報告書の概要版である。

### 2 スタジアムに求められる基準（主なもの）

#### (1) Jリーグ

- ・Jリーグ クラブライセンス交付規則
- ・日本プロサッカーリーグ 規約・規程集
- ・スタジアム検査要項

#### (2) 日本陸上競技連盟

- ・公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程

### 3 ShonanBMW スタジアム平塚の課題

改修検討会議では、現在の課題として次の項目が挙げられた。

#### (1) Jリーグが求める運営諸室の不足

- ・諸室の改善 ・ミックスゾーンの確保 ・施設を見回す場所に警備関係、放送関係室を確保

#### (2) サイドスタンドの安全確保

#### (3) スタジアム周回コンコースの設置

#### (4) 安心安全に観戦できる席の確保等

#### (5) 観客席を3分の1以上覆う屋根の設置（「スタジアム検査要項」では、大規模改修時には原則屋根は全ての観客席を覆うこととなっている）

#### (6) 走幅跳走路の増設

- ・日本陸上競技連盟第2種競技場更新のために2レーン増設

#### (7) ピッチ延長の削減

- ・現在のピッチ延長107mを1m削減（1種公認は107mが認められている）

#### (8) 風対策等

- ・陸上競技に影響する風対策 ・バックスタンド側フィニッシュライン用写真判定室の整備

#### (9) 改修コスト

- ・多額の費用確保 ・東京オリンピックや、震災復興事業等で増大する建設コストの見極め

#### (10) 助成金等の活用

- ・toto以外の補助金や交付金の活用（改修はtotoの対象外）

### 4 改修の方法

改修検討会議では、改修方法として2つの方法を示し比較検討した。

#### ○方法1

##### (1) 主な仕様

- ・観客席は2万人 ・全席屋根で覆う ・諸室はJ基準を満たす内容に改修
- ・メインスタンドに個室観客席新設・バックスタンドは2階席設置・屋根先端にLED照明

##### (2) 概算工事費

130億円

#### ○方法2

##### (1) 主な仕様

- ・観客席は1万7千人程度 ・屋根は観客席の1/3以上覆う ・バックスタンド増設
- ・サイドスタンドにコンコース設置・諸室はJ基準を満たす内容に改修

##### (2) 概算工事費

53億円～86億円



※方法1のイメージ



※方法2のイメージ

### 5 ShonanBMW スタジアム平塚改修の方向性

改修検討会議では、検討した2案と次の項目に示された内容を、方向性を示す際の基準とした。

#### (1) 平塚市の財政規模をもとに判断すること

#### (2) 観客の安心安全を確保すること

#### (3) 改修のスケジュールを定め、着実に実行すること

以上の点を踏まえ、改修の方向性を次のとおりとした。

**方向性1** 改修は、J基準、陸上競技基準を最小限満たす

**方向性2** 改修にあたっては、スタジアムをエリアに分割し改修時期をずらし、工期を遅れることなく着実に行う

**方向性3** 改修にあたっては施設を閉鎖せず、施設運営と並行して行う

### 6 改修スケジュール

ShonanBMW スタジアム平塚の改修は、Jリーグや陸上競技大会の安定的な開催や利便性の向上のために、早急に対策をとる必要がある。

平塚市はJリーグ及び日本陸上競技連盟の基準を満たすよう各団体からの助言を受けつつ、具体的な改修スケジュールを定め、早期の改修を着実に実行することを要望する。